

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 21 年 9 月 30 日

審査機関名 S G S ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	有限会社 栃木ハッコウ 栃木工場における、ボイラーエコノマイザー設置による省エネ事業
排出削減事業者名	有限会社栃木ハッコウ
排出削減共同実施事業者名	株式会社 日本環境取引機構
事業実施場所	栃木工場 (栃木県那須塩原市暮沼 58 - 3)
事業の概要	A重油ボイラー2 台に、ボイラーエコノマイザーを設置し廃熱利用することによって、CO ₂ 排出量の削減を図るものである。
排出削減量の計画	17 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 51 tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：栃木工場：栃木県那須塩原市暮沼58-3</p>
追加性を有すること	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 既存設備は更新せず、新規付加設備の導入を行うもので既存設備はそのまま使用することを、実施計画及び見積書等で確認している。 3) 排出削減事業の投資回収年数は 6.0 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、質問及び検算、関連証憑との突合により正確性を確認している。 4) 有限会社栃木ハッコウは、従来より乾燥工程の効率化、排熱リサイクルやすすぎ用の水量の抑制といった取り組みを実施し、グループとして自然環境との調和に熱心に取り組んでいる。今回、国内クレジット制度の活用により、CSR 活動への取り組みに対するアピール効果が期待できることが、本事業への投資決定の重要な要因となった。また、本事業による排出削減量は少ないが、グループ全社での活動の一環として、有限会社栃木ハッコウも本事業を実施するに至った。
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者及び共同実施者へのインタビューにより、当事業者が自主行動計画制度に入っていないことを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 <p>適用条件 1 については、既存ボイラー並びにボイラーエコノマイザーの機器仕様書(カタログ)を参照し、ボイラー効率がボイラーエコノマイザー設置で向上することを確</p>

	<p>認している。</p> <p>適用条件 2 については、既存ボイラー2 台を更新しないことを実施計画及び見積書等で確認している。</p> <p>適用条件 3 については、事業実施前及び実施後のボイラー蒸気が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒヤリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
--	---

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、純投資額をもとに算出している。

以上